

新型コロナウイルス感染症対策要項

1. 基本方針

- 1) 本大会の新型コロナウイルス感染症対策については、公益財団法人日本アイスホッケー連盟策定の「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を基に感染防止対策を徹底した上で、会場のスケートリンクが定める新型コロナウイルス感染症対策を遵守し競技会を開催する。

2. 入館時の対応

- 1) チームは感染症対策責任者を置き、チーム関係者（選手・監督・スタッフ）に過去2週間の「検温・問診チェックシート」を記入および保管させ、感染が疑われる傷病者がいないか抗原検査の結果も確認し、体温測定した上で、責任をもって会場指定の書式に記入し、オールメンバー表と共に大会本部に提出する。
- 2) 原則、選手は自宅より着替えて集合し、大会関係者（選手・監督・スタッフ、レフェリーおよび保護者代表者）はリンク駐車場車内にて事前に配布する抗原検査キットに検査を行い、陰性者のみリンクに入場できる。陽性者はチーム責任者に電話連絡の上、速やかに退出する。
★検査結果が出るまでに15～20分程度かかります。また、時間が経過すると検査結果が滲み判読できなくなるため、必ずリンク到着後抗原検査を行って下さい。
- 3) 観戦者は各チーム保護者代表者5名のみ限定し、その中からオフィシャル当番（小学生2名、中学生3名）を派遣する。
- 4) 当日の問診で体温が37.5度以上あるなど、症状が疑われる者は入場できません。
- 5) チーム感染症対策責任者は、チーム関係者（選手・監督・スタッフ）の大会開催前2週間および終了後2週間の「検温・問診チェックシート」を取りまとめ、感染が疑われる傷病者が発生した場合に備える。

3. 試合時の対応

- 1) チーム関係者（監督・スタッフ）はマスクを着用する。
- 2) ドリンク・タオル等は他の選手と共有せず、個々に用意をする。
- 3) リンク上では必要以上に大声を出さず、会話する際も距離を保つようにする。
- 4) ベンチ内の選手はベンチに座り、ラインズマンとの接触を防ぐ。
- 5) プレー以外の不要な接触を避ける（抱き合って喜ぶ、パックを手で拾うなど）
- 6) リンク上、ベンチ内には唾（つば）を吐かない。鼻水や唾液などがついたティッシュやゴミは、チーム感染症対策責任者が持ち帰る。
- 7) ウォーミングアップを行う場合は、会場外の広場を利用する。
- 8) 試合終了後、チーム関係者（監督・スタッフ）はベンチ内や控室の消毒作業を行う。
- 9) 試合後には、ヘルメットやグラブ、スティック、スケート靴など他人の飛沫がつきやすい用具の消毒、ジャージやストッキングなどの洗濯を行う。

10) **S Vは、両チームベンチ間にサーキュレーターを背中合わせに配置し、ベンチ内の換気を行うこと。**

4. その他

- 1) 大会期間中に大会関係者（選手、スタッフ、本部役員、レフェリー、観戦者他）から新型コロナウイルス感染症または濃厚接触者が発生した場合は、以後の試合を中止する場合がある。
- 2) 大会中および大会終了後2週間以内に、大会関係者から新型コロナウイルス感染症または濃厚接触者が発生した場合は、神奈川県アイスホッケー連盟（info@kihf.net）まで遅滞なく報告する。